眼科医連盟ニュース

発行：日本眼科医連盟　〒105-0014 東京都港区芝 2-2-14 一星芝ビルディング 7 階

2015 年 4 月 10 日　第 29 号

高野委員長に聞きました

Q. 今、連盟はなぜ必要なのでしょうか？

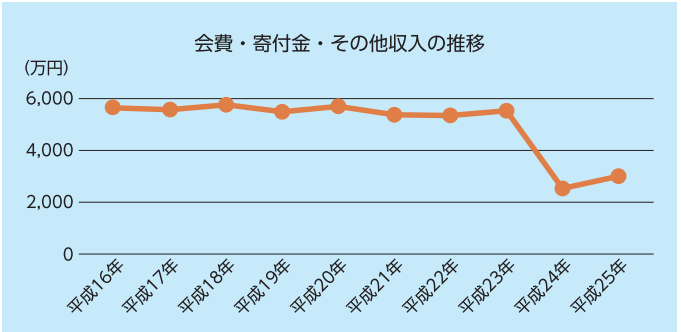
A. 私たち眼科医が願うことを実現させるためには，国への働きがけが必要です。国はいつでも私たちの思いを聞いてくれますが，それだけでは全く効果がありません。その目的達成のためには，確実なデータの構築と国民の理解を得るための啓発が不可欠です。この 2 つがそろうとかなり有効です。しかし，それだけでも十分ではありません。これに政治的な力が加わることによって，うまくいく可能性が高くなります。公益社団法人日本眼科医会は政治的な活動を行うことができない団体です。これに代って，この活動を担当するのが日本眼科医連盟です。この連盟が日本眼科医会や日本眼科学会の協力を得て，眼科医の願いの実現につとめます。連盟の活動なくして，私たちの思いは伝わらないと言っても過言ではありません。

Q. これまで連盟は何をしてきたのでしょうか？

A. いつの時代も政党与党と，その時の課題について議論をしてきました。三宅謙作前委員長は当時の自由民主党の麻生太郎総理に直接会い，日本眼科医会の構築した「日本における視覚障害の社会的コスト」のデータを示し，眼科検診の重要性を訴えました。また私が委員長になってからは，政権与党であった民主党に「目を守る議員連盟」を作ってもらい，メンバーとなっていただけた政治家の協力を得て，平成 24 年度診療報酬改定，日本のビジョンバン誕生，自動車運転免許証更新時の視覚検査や学校保健における色覚検査などに対応をし，それなりの成果も生み出すことができました。現在は政権与党である自由民主党と公明党に働きかけております。また，念願であった自由民主党の議員連盟が本年 3 月 5 日に誕生しました。今後はこのメンバーの協力を得て，国民のためとなる眼科医療の推進に努めてまいります。

Q. 一番お困りのことは何ですか？

A. 一番困っていることは，この連盟の重要性を眼科の先生方に，まだまだ十分に伝えることができていないことです。特に，勤務医の先生方には顕著です。昨年より，勤務医の連盟会費を半額にしてお願いをしておりますが，私の努力がまだまだ足りず，十分な成果が出ていないのが現状です。眼科医は約 14,000 名いますが，現在，連盟に入会いただけている先生は，3,245 名で約 23%にとどまっています。その内訳は，開業医 2,322 名，勤務医 923 名です。今後は，可能な限り，都道府県眼科医会や全国の大学主催の講演会などにおじゃまして，多くの先生方に直接お目にかかり，この願いを伝える努力もしていきたいと思っておりますので，よろしくご理解いただけますよう，お願い申し上げます。



平成24・25年度会計報告

会計責任者　神鳥　高世

平成 24 年度・25 年度の会計報告をさせていただきます。100 万円以下を四捨五入で説明いたします。平成 24 年度は，収入が 2500 万円で，支出が 6900 万円であり，4400 万円の大幅赤字でした。会費収入が前年度収入 5500 万円から大きく減少したことによります。この年度から会費について，都道府県眼科医会経由ではなく，連盟より直接徴収させていただいた「仕組の見直し」が大きく影響しております。これは，本来あるべき姿に変更したわけで，元には戻せません。25 年度も，収入が 3000 万円で，支出が 5500 万円であり，2500 万円の連続の大幅赤字でした。26 年度の見込も，収入は 2800 万円で，支出が 4800 万円で約 2000 万円の赤字の予想です。このままですと，次期繰越金も 6000 万円を切り，2～3 年中には資金は枯渇してしまい危機的状況です。

平成24年度日本眼科医連盟 収支報告書

（自H24.1.1～至H24.12.31）

1　収入総額	171,183,080
前年繰越額	145,878,080
本年収入額	25,305,000
2　支出総額	69,300,220
翌年への繰越額	101,882,860
3　本年収入の内訳	
個人の党費・会費（2,304人）	23,040,000
寄附	2,245,000
個人分	（2,245,000）
その他の収入	20,000
敷金戻り	（20,000）
4　支出の内訳	
経常経費	22,282,187
人件費	11,061,384
光熱水費	163,898
備品・消耗品費	174,140
事務所費	10,882,765
政治活動費	47,018,033
組織活動費	17,175,809
選挙関係費	15,127,534
機関紙誌の発行その他の事業費	48,300
機関紙誌の発行事務費	（0）
宣伝事業費	（48,300）
調査研究費	461,390
寄附・交付金	14,205,000
5　寄附	2,245,000

平成25年度日本眼科医連盟 収支報告書

（自H25.1.1～至H25.12.31）

1　収入総額	131,935,860
前年繰越額	101,882,860
本年収入額	30,053,000
2　支出総額	54,684,777
翌年への繰越額	77,251,083
3　本年収入の内訳	
個人の党費・会費（2,867人）	28,670,000
寄附	1,383,000
個人分	（1,383,000）
その他の収入	0
敷金戻り	（0）
4　支出の内訳	
経常経費	24,866,689
人件費	12,573,728
光熱水費	163,118
備品・消耗品費	197,390
事務所費	11,932,453
政治活動費	29,818,088
組織活動費	19,212,381
選挙関係費	2,219,136
機関紙誌の発行その他の事業費	2,326,525
機関紙誌の発行事務費	（2,278,225）
宣伝事業費	（48,300）
調査研究費	265,046
寄附・交付金	5,795,000
5　寄附	1,383,000

ご入会のお願いならびに会費納入手続きのお願い

会計責任者
職務代行者　小沢　忠彦

上述の通り，連盟の会計は危機に瀕しております。その状況を打破するためには，既存会員の会費収入にプラスして寄附のお願いと新規会員の入会による会費収入の大幅アップしかございません。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。寄附につきましては，郵便振替で対応させていただきますし，新規入会は今般「入会案内パンフレット」を作成しましたので，それをご利用ください。ご協力よろしくお願いします。

平成26・27年度 日本眼科医連盟役員名簿

役　職	氏　名
委員長（代表者）（1名）	高野　繁
副委員長（2名）	白井正一郎 入江　純二
執行委員（2名）	福下　公子 山岸　直矢
会計責任者（1名）	神鳥　高世
会計責任者（1名） 職務代行者	小沢　忠彦
監　事（2名）	鬼木信乃夫 吉田　博
最高顧問（1名） 参　与（4名）	三宅　謙作 羽生田　俊 井上　信治 中井　洽 吉田　統彦

支援議員

平成 27 年 2 月 7 日現在

組織内候補

1	羽生田たかし	自民党	比例 25 年	当選 1 回

組織外候補（衆議院）

1	丹羽　雄哉	自民党	茨城 6 区	当選 12 回
2	河村　建夫	自民党	山口 3 区	当選 9 回
3	鴨下　一郎	自民党	東京 13 区	当選 8 回
4	田村　憲久	自民党	三重 4 区	当選 7 回
5	井上　信治	自民党	東京 25 区	当選 5 回
6	赤沢　亮正	自民党	鳥取 2 区	当選 4 回
7	寺田　　稔	自民党	広島県 5 区	当選 4 回
8	赤枝　恒雄	自民党	比例東京ブロック	当選 2 回
9	今枝宗一郎	自民党	愛知 14 区	当選 2 回
10	小松　　裕	自民党	長野 1 区	当選 2 回
11	大隈　和英	自民党	大阪府第 10 区	当選 1 回
12	桝屋　敬悟	公明党	比例中国ブロック	当選 7 回
13	山井　和則	民主党	京都 6 区	当選 6 回
14	笠　　浩史	民主党	神奈川 9 区	当選 5 回
15	階　　猛	民主党	岩手 1 区	当選 4 回

組織外候補（参議院）

1	林　　芳正	自民党	山口 25 年	当選 4 回
2	武見　敬三	自民党	東京 25 年	当選 4 回
3	秋野　公造	公明党	比例区 22 年	当選 1 回
4	桜井　　充	民主党	宮城 22 年	当選 3 回

眼科医療政策推進議員連盟 設立総会が開催されました！

日　時：平成27年３月５日（木）15時00分～16時00分
会　場：衆議院第一議員会館　多目的ホール
出席者：日本眼科医会：高野会長，他８名
日本眼科学会：石橋理事長
日本視能訓練士協会：臼井会長，他２名
日本眼科医療機器協会　瀧本会長，他４名
眼科用剤協会　園山副会長，他２名
日本コンタクトレンズ協会　田中会長，他２名
厚生労働省　新村保険局長，他６名
自由民主党議員　約60名

会長：田村憲久前厚生労働大臣

事務局長：井上信治議員

高野　繁
日本眼科医会会長

石橋　達朗
日本眼科学会理事長

自由民主党国会議員有志（衆議院議員70名，参議院議員15名，合計85名）により眼科のための議員連盟が設立されました。当日は多数の参加者が活発な意見交換をいたしました。

まず，眼科領域の現状説明と課題について，日本眼科医会より「公的健診に関する要望書」を田村議連会長に提出いたしました。そして，高野会長より，2007年時点で視覚障害のある患者は国内に約164万人おり，年間約８兆8000億円もの社会的コストがかかっていると説明いたしました。30年には患者が200万人を超え，単純計算で10兆円超になるという見通しを示しました。さらに視覚障害によるそうした社会的な負担を減らすため，成人を対象にした公的な「目の健診プログラム」を創設するよう要望いたしました。これに対して，厚生労働省より，対象疾患や検査法をどうするのか検討が必要だと考えており，これらが定まった段階で，どういう費用対効果があるか，患者に利益があるか検討する必要がある，との考えを説明されました。

その後，多くの議員より質問が出され，それに，厚生労働省および日本眼科医会・日本眼科学会より回答いたしました。議連の今後の活動が期待されます。

会場風景

眼科医療政策推進議員連盟

（平成27年３月５日現在）

衆議院											参議院	
丹羽　雄哉	原田　義昭	井上　信治	城内　実	髙鳥　修一	今枝宗一郎	小松　裕	武部　新	藤井比早之	山田　美樹		尾辻　秀久	丸川　珠代
逢沢　一郎	山本　幸三	上川　陽子	佐藤　章	とかしきなおみ	大岡　敏孝	斎藤　洋明	田中　英之	堀内　詔子	大隈　和英		武見　敬三	赤石　清美
石破　茂	金子　恭之	菅原　一秀	寺田　稔	冨岡　勉	鬼木　誠	島田　佳和	田畑　裕明	前田　一男	神谷　昇		林　芳正	石田　昌宏
河村　健夫	後藤田正純	後藤　茂之	永岡　桂子	原田　憲治	勝沼　栄明	白石　徹	辻　清人	牧島かれん	木村　弥生		衛藤　晟一	大沼みずほ
鴨下　一郎	西川　公也	西村　康稔	あかま二郎	平口　洋	金子万寿夫	白須賀貴樹	豊田真由子	牧原　秀樹	谷川　とむ		石井みどり	島村　大
塩谷　立	松本　純	松島みどり	越智　隆雄	武藤　容治	神田　憲次	新谷　正義	長坂　康正	三ツ林裕巳			中川　雅治	羽生田　俊
遠藤　利明	山口　泰明	吉川　貴盛	亀岡　偉民	赤枝　恒雄	岸　信夫	瀬戸　隆一	比嘉奈津美	宮崎　政久			古川　俊治	福岡　資麿
田村　憲久	秋葉　賢也	赤澤　亮正	木原　誠二	秋元　司	小林　史明	武井　俊輔	福山　守	宮澤　博行			松下　新平	三宅　伸吾

会員からのご意見

眼科医側の考えを厚労省に訴え続けて幾年月。日本眼科医連盟が本当に機能し，やっと担当者と直接話ができ，議論の場に立てている。今でしょう！　（北海道・田川　博）

眼科医連盟活動の実効性向上には情報の共有を基盤とした会員数の拡大と日本眼科医会と日本眼科学会の壁を超えた組織の構築が急務と考えます。　（岩手・小笠原孝祐）

我々が社保制度に従う以上，中医協を含む政府行政サイドへのロビー活動は不可欠で，それを担う連盟への協力は眼科医の責務である。
（秋田・吉本　弘志）

眼科医に代り政府や厚労省，財務省へ提言し要求し折衝しているのが眼科医連盟です。眼科の発展のためにも，益々のご活躍を期待しています。　（福島・米山　高仁）

連盟には眼科のサポーターを増やす活動を期待します。特に政策を作る，動かす方々に現状を理解してもらい，応援団になって欲しいと思います。　（神奈川・益原　奈美）

眼科医療の価値を高め，社会に正しい情報を伝えていくことも連盟の使命と考える。連盟の大きな力に期待したい。　（東京・坪田　一男）

信ずるに値するものに目をむけると奇跡が起こる。日本には素より個より公にものごとを優先させる定見があるが眼科医連盟は正に正鵠を射る。　（岐阜・丹羽　子郎）

国民皆保険制度が危ない。混合診療の全面解禁，民間保険の市場拡大等々。安心安全な医療を国民に提供する重大な使命がある事を自覚してほしい。　（奈良・大澤　英一）

医療制度のすべては政治の場で決まります。世界一の国民皆保険，いえ患者さん一人ひとりを守るために，私たちはもっと政治に関心を持ちましょう。　（大阪・中川やよい）

我々の意見を厚労省に届けるために，日本眼科医連盟は，軽いフットワークで政治家の先生と動き回って欲しい。その資金は我々一人一人の協力から。　（兵庫・平松　邦夫）

眼科医連盟は保険医療の基盤を支える重要な組織です。さらなる支持と理解を得るために，活動可視化へ向けた一層のご努力をお願いします。
（愛媛・大橋　裕一）

患者さんの福利に繋がる眼科医の希望や要望が眼科医連盟に連繋している事を理解して，眼科医連盟という組織を再認識して戴きたいと思います。　（大分・大藪由布子）

皆さまからのご意見をお待ちしています！
ご要望・ご提案・お叱り・応援，何でも結構です。いつでも，下記へお寄せください。
（連盟用 FAX 番号　03-5765-7676）